

令和5年度（2学年用）

教科：地歴

科目：日本史探究

教科：地歴

科目：日本史探究

単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：志村）（2組：志村）（3組：志村）（4組：志村）（5組：志村）（6組：志村）

使用教科書：（日本史探究（東京書籍））

教科 地歴

の目標：

- 【知識・技能】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力・判断力・表現力】 歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究

の目標：

【知識・技能】	【思考力・判断力・表現力】	【主体的に学習に取り組む態度】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身につける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身につける。	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

単元	指導項目・内容	知	思	主	担当 時数	
1 学期	第1章 近世社会の形成 1 地球的世界の形成と日本	○アジア各地やヨーロッパ諸国との交流が日本に及ぼした影響について理解する。 ○アジア各地やヨーロッパ諸国と日本の交流に関する資料を基に、「鉄砲やキリスト教が日本に伝わることで、どのような変化が生じたのだろうか」などの課題（問い）を設定し、国内の社会の変容について考察し、表現する。	○	○	○	3
	2 織豊政権による全国統一	○織豊政権による全国統一と、その政策の目的や意義について理解する。 ○織豊政権に関する資料を基に、「織田信長・豊臣秀吉は、どのような政策によって全国統一をなしとげたのだろうか」などの課題（問い）を設定し、織豊政権による諸政策の目的や意義について考察し、表現する。	○	○	○	5
	3 桃山文化	○桃山文化の特色について理解する。 ○中世から近世への時代の転換に着目して、近世の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ○桃山文化に関する資料を基に、「桃山文化の新鮮さには、どのようなものがあげられるのだろうか」などの課題（問い）を設定し、国内の文化の変容について考察し、表現する。	○	○	○	3
	第2章 歴史資料と近世の展望 1 参勤交代と幕藩体制	○参勤交代と幕藩体制に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、参勤交代と幕藩体制に関する資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ○参勤交代と幕藩体制に関する資料から、近世の特色を示す情報を読み取る。	○	○	○	5
	定期考査		○	○		1
	2 百姓たちの生活世界	○百姓たちの生活世界に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、百姓たちの生活世界に関する資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ○百姓たちの生活世界に関する資料から、近世の特色を示す情報を読み取る。	○	○	○	3
	3 江戸時代の対外関係	○江戸時代の対外関係に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、江戸時代の対外関係に関する資料を通して読み取れる情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○	○	○	5
	第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 1 江戸幕府と大名・朝廷	○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、1節「幕藩体制の確立」の学習について見直しを持つ。 ○主題を基に、1項「江戸幕府と大名・朝廷」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、江戸幕府の支配のしくみについて理解する。	○	○	○	5
	2 近世の身分と人々の暮らし	○主題を基に、2項「近世の身分と人々の暮らし」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、近世の身分と村や町での生活について理解する。 ○2項「近世の身分と人々の暮らし」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の人々を描いた絵画などの資料から読み取る。	○	○	○	3
	3 アジアのなかの幕藩体制	○主題を基に、3項「アジアのなかの幕藩体制」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、江戸幕府の対外政策について理解する。 ○3項「アジアのなかの幕藩体制」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、貿易に関する絵画や法令などの資料から読み取る。	○	○	○	4
定期考査		○	○		1	
4 武断政治から文治政治へ	○主題を基に、4項「武断政治から文治政治へ」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、幕府政治の転換について理解する。 ○4項「武断政治から文治政治へ」に関わる課題（問い）を設定し、その課題（問い）を解決するために必要な情報を、当時の幕府の政策に関する資料などから読み取る。	○	○	○	6	
5 幕藩体制下の社会の発展	○主題を基に、5項「幕藩体制下の社会の発展」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、産業の発達と文化の興隆について理解する。 ○1節「幕藩体制の確立」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。	○	○	○	4	
2節 近世社会の成熟と幕藩体制の	○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、2節「近世社会の成熟と幕藩					

2 学 期	動揺	体制の動揺」の学習について見直しを持つ。					
	1 享保の改革と経済の発展	○主題を基に、1項「享保の改革と経済の発展」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、享保の改革と経済の発展について理解する。	○	○	○		6
	2 近世社会の成熟と危機の始まり	○主題を基に、2項「近世社会の成熟と開きの始まり」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、18世紀中後期の政治・社会・文化について理解する。 ○課題（問い）について生徒相互で話し合うなどして、18世紀中後期の政治・社会・文化について多面的・多角的に考察し、その結果をワークシート等に表現する。	○	○	○		4
	定期考査		○	○			1
	3 幕藩体制の立て直し	○主題を基に、3項「幕藩体制の立て直し」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、18世紀末～19世紀初頭の政治・社会・文化について理解する。	○	○	○		6
	4 幕藩体制の動揺	○主題を基に、4項「幕藩体制の動揺」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、19世紀前半の政治・社会・文化について理解する。 ○2節「近世社会の成熟と幕藩体制の動揺」の学習について振り返るとともに、諸事象の解釈や画期を表現することを通して、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色を理解する。 ○時代を通観する問い、仮説をふまえて、近世の特色および近代へのつながりについて多面的・多角的に考察して表現するとともに、「近世の日本と世界」の学習について振り返り、次の学習へのつながりを見いだす。	○	○	○		5
	第4編 近現代の地域・日本と世界 第1章 近代社会の幕開け 1 開国と開港	○開国と開港による日本のさまざまな変化について理解する。 ○欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に関する資料を基に、「どのような経緯で、日本は世界の経済のなかに組みこまれていったのだろうか」などの課題（問い）を設定し、外交政策の転換とその影響について考察し、表現する。	○	○	○		6
	2 幕府の崩壊と明治維新	○江戸幕府の崩壊から明治維新に至る過程について理解する。 ○近世から近代への時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	○	○	○		5
定期考査		○	○			1	
3 学 期	第2章 歴史資料と近現代の展望 1 資本主義の発展と生活	○資本主義の発展と生活に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、資本主義の発展と生活に関する資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○	○	○		5
	2 国民国家と政治参加	○国民国家と政治参加に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、国民国家と政治参加に関する資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○	○	○		5
	3 世界のなかの近現代日本	○世界のなかの近現代日本に関する資料から適切な情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○第1章で立てた時代を通観する問いをふまえ、世界のなかの近現代日本に関する資料を通して読み取れる情報から、近現代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。	○	○	○		6
	第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係 1 制度改革と殖産興業政策	○時代を通観する問い、仮説をふまえて主題を設定し、1節「近代的制度の導入と新しい国際関係」の学習について見直しを持つ。 ○主題を基に、1項「制度改革と殖産興業政策」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、明治初期の諸政策とその意義について理解する。	○	○	○		6
	2 文明開化と教育制度の整備	○主題を基に、2項「文明開化と教育制度の整備」に関わる課題（問い）を設定し、資料を用いて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、表現する活動を通して、明治初期の文化・教育の進展について理解する。	○	○	○		5
	定期考査		○	○			1